

エコアクション21

# 環境経営レポート

2024年版(2024.4.1~2025.3.31)



医療の快適環境を企画するマップコーポレーション

作成:2025年5月28日

有限会社 マップコーポレーション

## 目次

項目 番号	項目名	ページ
1	会社概要	3
2	認証・登録の対象範囲	4
3	環境経営方針	5
4	環境経営目標及び環境経営計画 4-1環境経営目標	6
	4-2主な環境経営計画の内容	7
5	環境経営目標及び実績、環境経営計画取組結果の評価 5-1環境経営目標及び実績	8
	5-2実績	9-10
	5-3環境経営計画取組結果の評価及び次年度取組内容	11
6	環境関連法規への違反、訴訟及び苦情等の有無	12
7	代表者による全体評価と見直し・指示の結果	13

# 1. 会社概要

## (1) 事業所名及び代表者名

有限会社マップコーポレーション  
代表取締役 安田博隆

## (2) 所在地

〒811-2132  
福岡県糟屋郡宇美町原田3-30-2

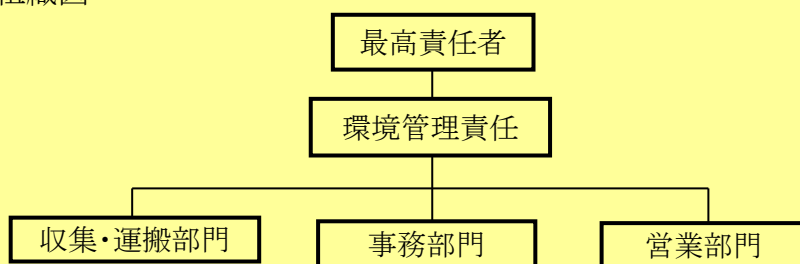
## (3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 脇田 禎之  
TEL:092-957-9955 FAX:092-957-9956

## (4) 事業活動の内容

特別管理産業廃棄物及び産業廃棄物収集運搬

## (5) 組織図



## (6) 事業の規模

- ・従業員数 6名(内パート1名)
- ・売上高 98,670千円(2024年度)
- ・敷地面積 161.98㎡(事務所:58.38㎡ 車庫:45.28㎡ 倉庫:58.32㎡)

## (7) 施設等の状況

- ・収集運搬車両 2t保冷車3台 1.0t冷蔵冷凍車1台

## (8) 処理実績

単位:t

品目	2022年度	2023年度	2024年度
感染性産業廃棄物(特管物)	436.87	418.19	452.08
廃酸	0.87	0.34	0.28
廃アルカリ	0.54	0.64	0.89
混合廃棄物	10.09	15.40	13.35
廃プラスチック	6.79	10.81	12.73
ガラスくず	0.73	1.35	1.77
金属くず	0.09	0.08	0.12
廃油(特管含む)	11.20	8.88	10.78
汚泥	0.062	0.380	0.178
合計	467.24	456.06	492.17

## (9) 廃棄物処理料金

個別契約内容に基づき別途御見積り

## (10) 資本金 500万円

## (11) 設立年月日 平成4年11月11日

(12) 事業許可内容

業種名	所轄県・市	許可番号	許可年月日	許可期限	許可品目
特別管理 産業廃棄物 収集運搬業  *積替保管 有(福岡県) 面積:4.80㎡ 保管上限:6.24㎡ 積上げ高さ:1.60m	福岡県	04060002547	R5年5月12日	R10年5月11日	廃油、廃酸、廃アルカリ、ばいじん、燃え殻、汚泥、感染性産業廃棄物
産業廃棄物 収集運搬業  *積替保管なし	福岡県	04000002547	R4年7月10日	R9年7月9日	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等(以上3品目については自動車等破砕物を除く)、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、がれき類(廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ガラスくず等、がれき類については、石綿含有産業廃棄物を含む)、(廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等については、水銀使用製品産業廃棄物を含む。)

2. 認証・登録の対象範囲(全組織・全活動)

- ①対象事業所 : 本社 〒811-2132  
 福岡県糟屋郡宇美町原田3-30-2
- ②事業活動 : 特別管理産業廃棄物及び産業廃棄物収集運搬

### 3. 環境経営方針

#### 【基本理念】

当社は感染性医療廃棄物の収集運搬事業の経験を生かし、医療廃棄物処理に従事する全ての方々の安全を重視します。また、処理に伴う環境負荷の低減を図り、さらに従業員の環境への意識向上に努め自主的・積極的に環境保全に取り組みます。取組については、小さなことから実践し当社の事業を通じ地球環境保全とSDGsへつながる目標達成を通じ社会貢献を目指します。

#### 【環境経営方針】

基本理念に基づき、少しでも環境改善の一環に貢献できるよう、以下の活動に取り組み実行して参ります。

1. 関連法規, 条例等を遵守した事業活動の継続。
2. 受託した廃棄物の処分完了まで事故及び苦情の防止。
3. 重点分野として、事業活動に伴う環境負荷(エネルギー、資源、排ガス)を削減し、環境汚染の予防。  
＜具体的な取組み＞
  - ・ 収集、運搬車輛の使用燃料の削減。
  - ・ 事務所、倉庫の使用電力の削減。
  - ・ 廃棄物の再資源化に取組みリサイクル率を向上。
4. 5S活動の推進。
5. 社内外のコミュニケーション(報告・連絡・相談)の徹底。
6. 地域貢献活動の推進。
7. 環境経営の継続的改善を推進。

制定日2009年11月 1日

改定日2024年 9月 1日

有限会社マップコーポレーション

代表取締役社長 安田 博隆

#### 4. 環境経営目標及び環境経営計画

##### 4-1. 環境経営目標(2024年度～2026年度)

### 環境経営目標

			基準年 (2023年度)	2024年度 (2024年 4月～翌年 3月)	2025年度 (2025年 4月～翌年 3月)	2026年度 (2026年 4月～翌年 3月)
二酸化炭素排出量削減	CO2 排出量	kg-CO2	45,946	2023年度比 0.1%削減 45,900	2023年度比 0.2%削減 45,854	2023年度比 0.3%削減 45,808
	電力	kWh	3,214	3,211	3,208	3,204
	ガソリン	L	3,046	3,043	3,040	3,037
	軽油	L	14,321	14,307	14,292	14,278
廃棄物排出量削減	一般 廃棄物 (可燃ごみ)		96kg	2023年度 実績以下	2023年度 実績以下	2023年度 実績以下
	産業 廃棄物		320kg	2023年度 実績以下	2023年度 実績以下	2023年度 実績以下
水使用量削減			42m <sup>3</sup>	2023年度 実績以下	2023年度 実績以下	2023年度 実績以下
交通事故、飛散・流出 事故及び苦情の 発生件数			事故、苦情 ゼロ件	事故、苦情ゼロ件	事故、苦情ゼロ件	事故、苦情ゼロ件
5S活動の推進			チェックリストによる 確認	チェックリストによる 確認	チェックリストによる 確認	チェックリストによる 確認
地域貢献活動の 推進			2回/月	会社周辺道路等の 清掃活動実施 2回/月以上	会社周辺道路等の 清掃活動実施 2回/月以上	会社周辺道路等の 清掃活動実施 2回/月以上

注1. 基準年の電力のCO2計算は九州電力公表2021年度値:調整後の排出係数0.382(Kg-CO2)/kWhを適用

## 4-2. 主な環境経営計画の内容

### 4-1 CO2排出量の削減について

#### (1) 電力の抑制をする

- A) エアコン使用時、室内の温度設定は、夏26℃、冬20℃を目安とする
- B) エアコンフィルターの清掃年2回実施
- C) 必要以外の電気はこまめに消す
- D) 省エネ家電、照明器具の選定

#### (2) 自動車の燃費の効率の向上を図る。

- A) 省エネを考慮した収集・運搬計画、走行ルート選定(同一地域をまとめる等)。
- B) アイドリングストップ実施。
- C) 適正車間距離を維持し急ブレーキ、急発進をしない。
- D) 適正タイヤ、空気圧など車両の日常点検実施。

### 4-2 廃棄物排出量の削減について

#### (1) 一般廃棄物(可燃ごみ)について

- A) 分別を徹底する
- B) 紙の使用を減らし、電子化する

#### (2) 産業廃棄物について

- A) 分別を徹底しダンボール紙の再資源化を図る
- B) 産業廃棄物処理委託先の再資源化状況及び適正処理の把握

### 4-3 水使用量の削減について

- A) 洗車時の節水実行(洗車バケツの活用等)
- B) 洗濯時の節水実行(適正水量、まとめ洗い等)
- C) 食器類は、ため水で洗う。

### 4-4 事故及び苦情の防止

- A) 道交法の順守、アルコールチェック
- B) 「収集運搬作業手順書」の順守
- C) 顧客とのコミュニケーションを徹底し必要な情報を適切に提供

### 4-5 5S活動の推進

- A) 定期的な車庫、倉庫、車輛、事務所の清掃実施(第1、3土曜日)
- B) 清潔な服装の維持

### 4-6 地域貢献活動

- A) 会社周辺道路等の清掃活動を実施

## 5. 環境経営目標及び実績、環境経営計画取組結果の評価

### 5-1 環境経営目標及び実績

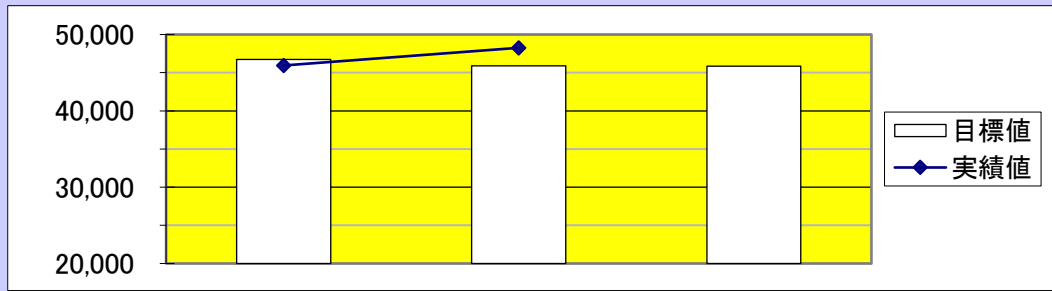
			基準年 (2023年度)	2024年度目標 (2024年 4月～翌年 3月)	2024年度実績	評価
						達成率 (%)*2
二酸化炭素排出量削減	CO2 排出量	kg-CO2	45,946	2023年度比 0.1%削減 45,900	48,260	94.9
	電力	kWh	3,214	3,211	3,339	96.0
	ガソリン	L	3,046	3,043	3,055	99.6
	軽油	L	14,321	14,307	15,464	91.9
廃棄物排出 量削減	一般 廃棄物 (可燃ごみ)		96kg	2023年度 実績以下	96kg	100
	産業 廃棄物		320kg	2023年度 実績以下	380kg	81.25
水使用量削減			42m <sup>3</sup>	2023年度 実績以下	42m <sup>3</sup>	100
事故及び苦情の防止活 動の推進			事故、苦情ゼロ件	事故、苦情ゼロ件	事故、苦情ゼロ件	100
5S活動の推進			チェックリストによる 確認	チェックリストによる確認	チェックリストによ る確認	100
地域貢献活動の 推進			2回/月	会社周辺道路などの清掃 活動実施 2回/月以上	新型コロナウイルス5類 に移行のため清掃活動 再開した、2回/月以上	100

1. 基準年の電力のCO2計算は九州電力公表2021年度値：調整後の排出係数0.382(Kg-CO2)/kWhを適用

2. CO2達成率計算式： $\langle \frac{目標-実績}{目標} + 1 \rangle \times 100$

## 5-2 実績

### (1)CO2の排出量削減

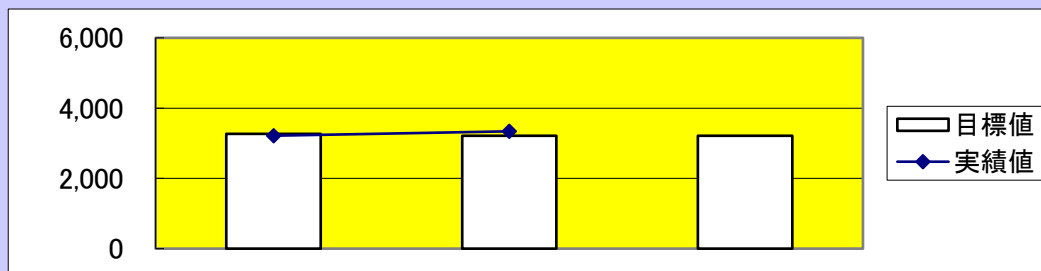


	2023年	2024年	2025年
目標値	46,751	45,900	45,854
実績値	45,946	48,260	

単位 Kg-CO2

#### (1)-1 電気

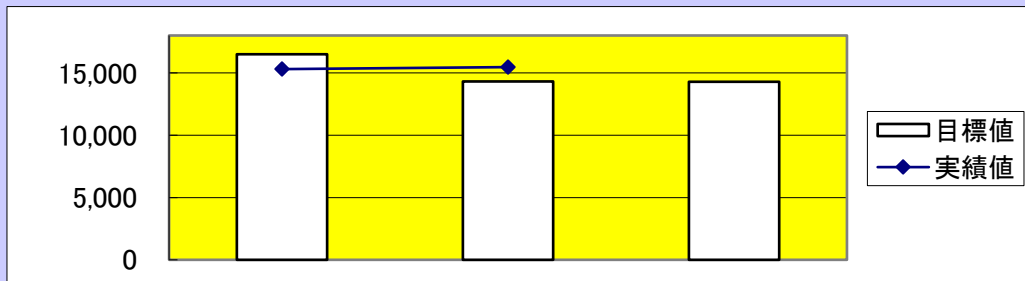
(購入電力の排出係数は2021年より、0.382kg-CO2/kwhを使用している。)



	2023年	2024年	2025年
目標値	3,265	3,211	3,208
実績値	3,214	3,339	

単位 kWh

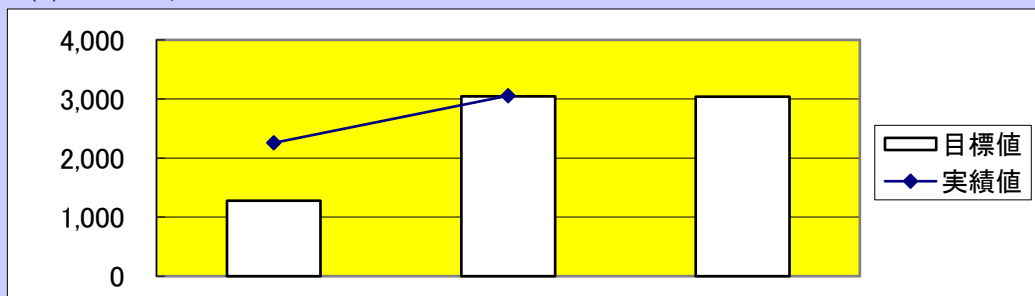
#### (1)-2 軽油



	2023年	2024年	2025年
目標値	16,486	14,307	14,292
実績値	15,303	15,464	

単位 L

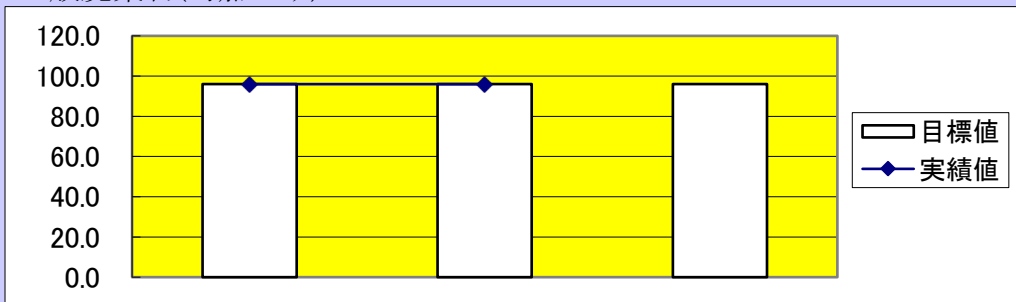
#### (1)-3 ガソリン



	2023年	2024年	2025年
目標値	1,280	3,043	3,040
実績値	2,257	3,055	

単位 L

(2)廃棄物排出量の削減  
一般廃棄物(可燃ごみ)

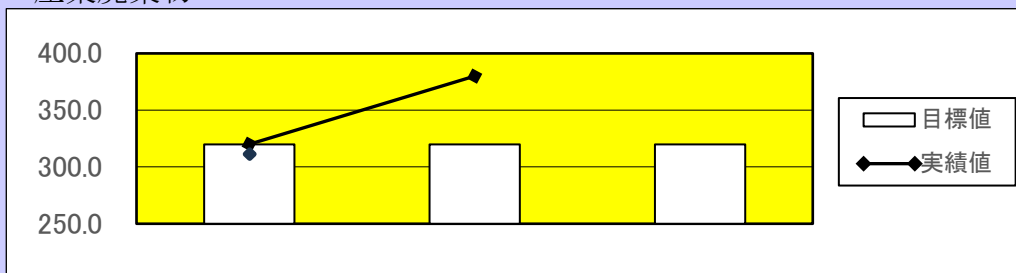


	2023年	2024年	2025年
目標値	96.0	96.0	96.0
実績値	96.0	96.0	

単位 kg

(資源ごみは除く)

産業廃棄物

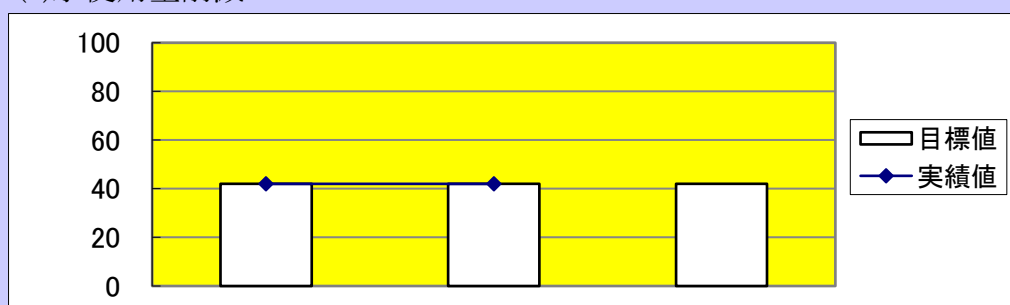


	2023年	2024年	2025年
目標値	320.0	320.0	320.0
実績値	320.0	380.0	

単位 kg

(資源ごみは除く)

(3)水使用量削減



	2023年	2024年	2025年
目標値	42	42	42
実績値	42	42	

単位 m<sup>3</sup>

(4)事故及び苦情の防止

	2023年	2024年	2025年
目標値	0	0	0
実績値	0	0	

単位 件

### 5-3. 環境経営計画取組結果の評価及び次年度取組内容

項目	評価	取組み結果 (2023年4月～2024年3月)	次年度取組内容
1. CO2排出量の削減	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコン使用時、室内の温度設定は夏26℃、冬20℃を目安とした</li> <li>・省エネを考慮した収集・運搬計画、走行ルートを選定した</li> <li>・アイドリングストップを実施した</li> </ul>	継続して活動
1-1電力	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコンフィルターの清掃年2回実施した</li> <li>・必要以外の電気はこまめに消した</li> </ul>	継続して活動
1-2ガソリン	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイドリングストップを実施した</li> <li>・適正車間距離を維持し急ブレーキ、急発進をしないようにした</li> <li>・タイヤの空気圧など車両の日常点検を実施した</li> </ul>	継続して活動
1-3軽油	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネを考慮した収集・運搬計画、走行ルート選定を行った</li> <li>・アイドリングストップを実施した</li> <li>・適正車間距離を維持し急ブレーキ、急発進をしないようにした</li> <li>・タイヤの空気圧など車両の日常点検を行った</li> </ul>	継続して活動
2.廃棄物廃棄量の削減(可燃ごみ)	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別を徹底した</li> </ul>	継続して活動
3.水使用量削減	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗車時、洗濯時の節水を実行した</li> </ul>	継続して活動
4.事故及び苦情の防止、5S活動の推進	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道交法の順守、アルコールチェックを行った</li> <li>・「収集運搬作業手順書」を順守した</li> </ul>	継続して活動
5.地域貢献活動の推進	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社周辺道路などの清掃活動を2回/月実施した</li> </ul>	継続して活動

## 6. 環境関連法規への違反、訴訟及び苦情等の有無

当社に適用される下記法令その他規制遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また訴訟、お客様、近隣地域等からの苦情についてもありませんでした。

遵守点検: 2025年3月28日

法律名等	対象設備、作業等	要求事項	確認結果
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業系一般廃棄物	委託先業者の選定基準・委託基準の順守	○
		廃棄物処理業	○
	産業廃棄物 1.医療機関などからの感染性産業廃棄物収集・運搬 2.その他産業廃棄物の収集・運搬	保管基準の遵守	○
		許可業者への委託	○
		委託基準の遵守	○
		管理票(マニフェスト)の交付	○
		管理票(マニフェスト)の写しの送付を受けるまでの期間	○
		管理票(マニフェスト)の写しの保存期間	○
		管理票(マニフェスト)に関する知事への定期報告	○
		収集、運搬車の表示等	○
		産業廃棄物再委託の禁止	○
		帳簿の記載義務	○
		許可証の携帯義務	○
		名義貸しの禁止	○
優良処理業者の許可の有効期間の特例	該当なし		
環境省が指導する感染性産業廃棄物に関する「手引書:廃棄物処理に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」	感染性産業廃棄物 (医療機関などからの感染性産業廃棄物収集運搬)	収集運搬及び保管	○
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律	事業者及び国民の責務	物品購入の際等、できる限り環境物品を選択	○
家電リサイクル法	該当物:テレビ、冷蔵庫、エアコン	事業者及び消費者の責務	○
自動車リサイクル法	営業用車両、収集運搬用トラック	自動車の所有者が行なうべきこと	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン(7.5KW以下)	1回/3ヶ月点検実施	○
道路交通法	営業用車両、収集運搬用トラック	法定速度順守	○
		整備不良車両の運転禁止	○
		過積載車両の運転禁止	○
		積荷の飛散、落下防止	○
福岡県環境保全に関する条例	活動全般	事業活動に関し、環境への負荷の低減その他の環境の保全に自ら努めるとともに、県及び市町村が実施する環境保全に関する施策に協力	○

# 代表者による全体の評価と見直し・指示

2024年度

## 1) 評価

- ① EA21に継続的に取り組み、社員の環境意識は高まっている。
- ②軽油、ガソリン、電力目標未達成。軽油使用量:(収集運搬量の増加によるもの)、ガソリン使用量:(収集運搬用ガソリン車の1台増によるもの)、電力使用量:(エアコン使用によるもの)が主要因である。
- ③5S活動は、各自の努力により実施している。
- ④報告、連絡、相談は、徹底している。
- ⑤地域貢献活動として、会社周辺の清掃活動を再開している。
- ⑥事故・苦情は特にない。

## 2) 見直し・指示

- ①今後とも継続して環境意識の向上を図ること。
- ②環境経営目標については、ガソリン、軽油使用量等の見直しをすること、2025年度目標は2024年度実績値を基に見直す。
- ③継続して5S活動は、実施すること。
- ④継続して報告、連絡、相談は、徹底すること。
- ⑤継続して地域貢献活動を実施すること。
- ⑥今後とも、事故及び苦情は発生しないように全社員に周知徹底すること。